

2021年8月27日

JMoF 実行委員会



「JMoF 2022」の開催形式について

このたび、JMoF 実行委員会が主催する「Japan Meeting of Furries 2022 (JMoF 2022)」につきまして、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響に鑑み、開催形式を下記のとおり変更することをお知らせいたします。

- 開催期間を 2022 年 1 月 8 日 (土) ~9 日 (日) の 2 日間とします。
- 参加方法は事前参加登録のみとし、受付人数を先着 700 名に限りませす。
- その他、アルコールなどを用いた消毒の実施・イベント内企画の実施方法の変更など、会場内での感染防止対策を行います。

また、開催形式の変更に伴う参加者 1 人あたりの開催費用の増加や、今後の持続的な開催のため、参加をご検討いただいている皆さんにおきましては、下記のご負担がかかることをご了承いただけますと幸いです。

- 参加費を値上げいたします。
- 参加証の送付先は国内に限ります。また、原則として開催当日における会場での受け渡しを行いません。
- 更衣室の利用は事前申込制かつ別料金制といたします。
- その他、感染防止対策を含む参加規約などの諸規約を遵守いただきます。

2021 年となって半年が経った現在でも、緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の適用が幾度となく行われております。また、デルタ株などの感染力の強い変異株の流行もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方で、政府や自治体、各種団体による感染防止対策ガイドラインの策定が進み、イベント業界においても、このコロナ禍の中でイベントを開催するためにはどうすればよいか、計画と実践の内容が充実してきております。また、日本国内における

COVID-19 ワクチンの接種状況も、当初の想定より早いペースで進んでおり、多くの方が今年中に接種を完了できる見込みが立ちつつあります。

こうした中で、当会としても、ファーリーコンベンション（ケモノイベント）を開催する方法を模索していくことがケモノ文化の発展に寄与すると考え、JMoF 2022 を現地、ロワジールホテル豊橋（愛知県豊橋市）にて開催する方向で、現在も各方面と綿密に連絡を取り合いつつ、準備を進めております。

無論、JMoF 2022 の開催にあたり、上記の感染防止対策ガイドラインを遵守しなければなりません。当会で検討を重ねた結果、感染防止対策に対応できる会場スペース・設備の確保や、参加者数の抑制・全参加者の連絡先の把握に加え、これらの対策を講じるための予算の確保などに対応するため、冒頭に述べました開催形式の変更を皆さんにお伝えする次第です。

JMoF 2022 の参加規約・参加登録などの詳細につきましては、JMoF 公式ウェブサイトおよびソーシャルメディアにて順次ご案内いたします。なお、政府や自治体などによる要請やガイドラインの変更があった場合、当会が定める感染防止対策にかかる参加規約などの変更や開催規模の縮小・中止を含めた対応を行うことがありますので、その場合も上記メディアを通じてお知らせいたします。

JMoF 2022 はケモノ／ファーリーのファンの皆さんにとって挑戦的な内容となります。それでも、ファーリーコンベンションというかけがえのない場を未来につないでいくために、当会では体力のもつ限り努力を積み重ねてまいります。皆さんにおきましては、安心して参加することができる場を共に作り上げていくため、特別な事由のない限りは各種ワクチンを接種いただき、JMoF 2022 に参加される折には、一参加者としての当事者意識をお持ちになって、感染防止対策ガイドラインを熟読・遵守いただくなど、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

以上

JMoF 実行委員会

代表 さとみ


